

2024年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

I 法人本部

【総括】

2024年度は、障害福祉サービス等事業では入所施設利用者の施設移行や入院等による収入減というマイナス要因もありましたが、重度障害者支援加算の取得や報酬改定による報酬単価が増加したというプラス要因もあり収入増となりました。保育事業についても園児を安定して受け入れ、新設された加算や公定価格の上昇、執行状況の点検も充実し収入増となりました。法人全体としては、物価高騰による厳しさはありましたが、事業活動収入の確保や適正な支出の徹底をした効果により、2024年度の単年度収支額は大幅な黒字になりました。

法人の重要課題である人材の確保・育成については、ハローワーク、求人情報サイト、求人広告、ポスティング、派遣会社等々多様な媒体を介し法人情報の発信力向上、スーパービジョン体制を取り入れ、人材の確保・育成に努めましたが、離職を防ぎ、支援員の不足を十分に補充するには至りませんでした。引き続き募集対策を検討し職員確保に努めるとともに、離職防止対策にもさらに取り組んでまいります。

このほか、大地震などの災害や新型コロナウイルス等感染症の発生に備えて、法人内の全事業所がBCP（事業継続計画）を策定し、年に一度は法人内の全職員が、自分たちが働いている職場について予測される危険性を認識し、共に考える機会をつくりました。

引き続き、利用者・園児に対する支援や保育の充実・向上や職員確保、円滑な法人運営に努めてまいります。

1 評議員会

令和6年 6月26日

【議案】

- ・2023年度事業報告及び収入支出決算について

令和6年11月11日

【議案】

- ・社会福祉法人緑友会定款の一部改正について
- ・評議員及び役員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について

令和7年 3月27日

【議案】

- ・2025年度事業計画及び予算について

【報告事項】

- ・諸報告について

2 理事会

令和6年 5月29日

【議案】

- ・金融機関からの借入（6月賞与支給等に係る一時借入金）について

【報告事項】

- ・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・その他

令和6年 6月10日

【議案】

- ・2023年度事業報告及び収入支出決算について
- ・2024年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

- 令和6年 9月25日 **【議案】**
- ・ 社会福祉法人緑友会定款の一部改正について
 - ・ 評議員及び役員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について
 - ・ 金融機関からの借入について
 - ・ 2024年度第2回評議員会の招集について
- 【報告事項】**
- ・ 理事長専決事項の執行状況について
 - ・ 9月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・ みどり園・清川ホーム指導監査の結果について
 - ・ 事業継続計画（BCP）について
 - ・ 加藤元保顧問の逝去について
- 令和6年11月29日 **【議案】**
- ・ 金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
- 【報告事項】**
- ・ 金融機関からの借入額（運転資金）について
 - ・ 第2回評議員会について
 - ・ 11月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・ 法人指導監査の結果について
 - ・ その他
- 令和7年 2月26日 **【議案】**
- ・ アトリエヴェルデ施設長の選任について
- 【報告事項】**
- ・ 2月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・ 2025年度の理事会・評議員会開催日程案について
- 令和7年 3月19日 **【議案】**
- ・ 2025年度事業計画及び予算について
 - ・ 2024年度第3回評議員会について
- 【報告事項】**
- ・ 理事長専決事項の執行状況について

3 代表者会議

総括支援理事、長塚顧問、総務部長、各施設長、医療担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催を基本としているが、感染防止対策等で2回は書面報告となった。

法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な事業の報告、書面による確認により、法人全体で共通認識、意思統一を図った。

4 広報戦略会議

理事長、総括支援理事、総務部担当職員2名を構成員とし、年6回開催した。求人サイトによる職員の採用対策などに関して協議を行った。

なお、昨年度と同様に2024年度も「福祉の輪 広げたい」、「ゆう」の発行を見送った。

- ・ 求人サイトの点検
- ・ 道灌まつり顔出しパネル
- ・ 職員の採用活動の検討

5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・ 永年勤務者表彰
 - 20年表彰 5名 10年表彰 5名
- ・ 表彰日 令和6年3月24日（法人設立日）

6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者・園児及び職員の健康管理・疾病予防対策、入所施設の高齢化対策、事故防止対策、看護師業務改善、職員健康診断の情報共有や協議を行い対応を図った。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用者の外出制限の緩和等管理職と相談した。また、会議のみではなく、随時3名で情報や課題共有を行い、総務部、各施設の管理職との連携を行いながら対応した。結果として、利用者、園児の異常の早期発見・早期対応、利用者にあった適切な施設移行が実現できた。また、ワクチン接種、感染者発生時のクラスター対応等スムーズに行うことができた。

検討項目

- ・各施設の入院状況、感染症罹患状況の報告、及びその対策について
- ・感染症対策、発生時対応について
- ・事故や怪我の報告、及びその対策、職員の意識強化について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・職員の健康管理について

7 衛生管理点検

各施設長による衛生点検を月1回実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

8 施設整備等

- ・みどり園 洗面所引違戸新設工事・厨房空調機増設工事・ガス給湯器交換工事
- ・清川ホーム 1階男性洗面所洗面台更新工事・食堂床全面張替工事
- ・つくし 2階屋上防水工事
- ・アトリエ ヴェルデ 事務所エアコン交換工事

2024年度の課題に対する自己評価

安定した法人運営を目指し、新たな執行体制の下、各施設が一丸となって安心安全な支援や保育などのサービス提供に引き続き取り組む。

1 安定した法人運営の確保

事業活動収入の確保と支出管理の徹底を図るとともに、各施設の「執行状況の点検・確認」の充実を図り、財務規律の向上と安定した法人運営の確保を目指す。

⇒ 入所施設利用者の利用者減(施設移行等)による事業活動収入の減や物価高騰等による事業活動支出の増により収入支出ともに厳しい状況が続いている中、「執行状況の点検・確認」による支出管理の徹底や入所施設で重度支援加算を取得できる体制を整えたことによる新たな収入の確保等により、単年度収支の改善を図ることができた。

2 安心安全な保育サービスの提供

人材の確保・育成に引き続き取り組むとともに、快適な環境整備に努め、安心安全な支援・保育サービスを提供する。

⇒ ハローワークはもとより求人情報サイトや求人広告媒体の活用等、様々な手法を活用するなど人材確保が難しい状況が続いている中、スーパービジョン等による職員の育成やすべての事業所で業務継続計画(BCP)を策定し緊急時の対応の徹底を図るなど、安心・安全なサービスの提供に努めた。

Ⅱ みどり園

1 指定障害者支援施設 みどり園

(1) 入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	65	65	66	66	67	67	67	66	66	66	66	66
入所	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2023年度 在籍数	67	67	66	66	66	66	66	65	65	64	64	64

(2) 生活介護通所利用者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2023年度 在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(3) 行事

4月 1日	開園記念式	10月 28日	ハロウィンイベント
5月 14日	オリジナルパフェ作成(通所)	11月 25日	カフェイベント
6月 24日	かき氷イベント	12月 24日	クリスマス会
7月 14日	駄菓子つかみ取り	1月 27日	クリームソーダイベント
8月 8日	納涼祭代替イベント	2月 17日	カップラーメンイベント
9月 30日	アイスフロートイベント	3月 24日	映画鑑賞イベント

(4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 16日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	安全に避難訓練を行う為、4月22日に延期し、第2支援員室横の洗濯機出火想定で訓練を行なった。
5月 8日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	安全に避難訓練を行う為、6月25日に延期し、緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 4日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	男性棟1階入浴室出火想定で訓練を行った。
7月 2日 9:50～	避難訓練 (日中火災想定)	1階洗面台横、洗濯機から出火想定で訓練を行った。
8月 13日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	安全に避難訓練を行う為、9月20日に延期し、厨房から出火想定で訓練を行なった。
9月 3日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	「防災の日」に伴う「直下型地震」を想定した総合訓練を行なっている。
10月 2日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	安全に避難訓練を行う為、11月29日に延期し、2階女性棟、洗濯機より出火想定で訓練を行なった。
11月 5日 9:30～	避難訓練 (がけ崩れ)	連日の大雨により、がけ崩れの兆候が見られたことを想定。訓練後、崖の写真を撮影し状況確認を行なっている。
12月 9日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	安全に避難訓練を行う為、次月に延期予定だったが、コロナ感染者が出てしまい延期なしの中止としている。
1月 14日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した為、延期をせずに中止としている。
2月 4日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 5日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯機より出火想定で訓練を行なった。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

(5) 広報

「園だより」を1回発行した。

- ・第185号（7月20日発行）
- ・施設長挨拶・事業報告・支援計画について
- ・行事報告（クリスマス会、映画観賞会、2月イベント、開園記念式）
- ・異動職員挨拶・報告事項（異動、入所、退所、訃報）
- ・編集後記

(6) 権利擁護、本人活動支援

① 利用者自治会

年間4回開催。実施したいイベントについて話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。また、職員からの提案事項を相談させていた。

② 虐待防止委員会

不適切行為チェックリスト集計結果報告、事故報告、ヒヤリハットの振り返り、虐待の有無、事故検証会議の進め方等の確認をした。

(7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
4月22日 17:00～	虐待防止研修 講師：佐藤副施設長	・身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上
5月27日 17:15～	防災研修 講師：小澤主査	・受信機の取り扱い、防災マニュアルの読み合わせ
6月22日 17:00～	「ストレスマネジメント」研修（動画）	・ストレスを正しく理解する、セルフマネジメント
8月21日 14:30～	ガウンテクニックについて 講師：和田主査	・実技を交え、正しい脱着を学んでいる
8月21日 14:00～	てんかんについて 講師：青塚看護師	・てんかんを一緒に知ろう
11月27日 15:30～	「リスクマネジメント」研修（動画）	・リスクマネジメントとは、リスクマネジメントの考え方
12月23日 9:30～	虐待・身体拘束防止研修 講師：長谷川 大輔氏	・身近にある関りと支援を点検する
2月1日～28日	「虐待防止」研修（動画）	・障害者虐待防止の理解と対応

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数22人 延べ人数503人 (令和5年度 実人数18人 延べ人数475人)

(2) 地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

年間 実人数7人 延べ人数609人 (令和5年度 実人数6人 延べ人数379人)

2024年度の課題に対する自己評価

1 管理職の体制や役割分担の変更を効果的に活かしつつスーパービジョン体制も維持発展させる。

⇒ 今年度から体制が変更し職員数の減もあったが、スーパービジョン研修を各職員で実施し、スーパービジョンに関する施設外研修にも参加した。

今年度は重度障害者支援体制を整えるために、複数の職員が、強度行動障害支援者養成研修を受講し理解を深めた。引き続き、重度障害者支援の理解を深められるように、重度障害者支援研修に力を注ぎ、重度障害者支援体制を整える。

2 新型コロナウイルス感染症を含め、あらゆる感染症の対策を徹底するとともに、外泊、外出の幅を少しでも広げるように工夫努力する。

⇒ 12月に新型コロナウイルス感染症集団感染が発生してしまったが、以前の集団感染の経験を活かし、職員全員が力を合わせて臨機応変に対応することができた。

また、感染症対策を徹底した中、毎月工夫をしながら園内イベントを実施し、家族との対面面会、買物外出、サーカスを楽しむ日帰り外出も実施することができ、外出の幅を広げることができた。

利用者の社会的な活動を支えつつ感染症の予防や対応を今まで以上に丁寧に支援することを心掛けた。

3 入所者の感染症発症時においても、在宅利用者の生活介護通所事業等を継続できるように体制を整える。

⇒ 入所者の新型コロナウイルス感染症集団感染が発生した中でも、在宅利用者の生活介護通所事業専属職員を配置したことで、事業継続できた。

Ⅲ 清川ホーム

1 指定障害者支援施設 清川ホーム

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	49	49	48	48	48	47	47	47	47	48	48	48
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
退所	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2023年度 在籍数	49	49	49	49	49	50	49	50	50	50	50	49

(2) 行事

5月	ふれあいフェスティバル(中止)
7月 20日	夏のお楽しみデイ(サマーフェスティバルが中止となり代替え行事)
12月 17日	クリスマス会
1月 14日	どんど焼き
1月 21日	成人・敬老の祝い(成人1名、傘寿1名)
月例行事	みんなの会

グループレクリエーション

*新型コロナウイルスの感染症対策の為、例年行っている日帰りレクリエーションを中止し、地域の店舗等からお弁当を購入し、食事会を実施。

日 時	食事会
6月18日	A・Dグループが担当し、すき家よりお弁当を購入
11月19日	B・Cグループが担当し、濱陣よりお弁当を購入

(3) 防災 業者による年2回の定期防災機器点検、自主点検も2回実施。

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 9日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行った。浄水訓練も行った。
5月 14日 13:30～	避難訓練 (火災:日中想定)	作業室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練も実施した。
6月 11日 9:30～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 9日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	作業室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
8月 6日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。浄水訓練も行った。
9月 10日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	2階女性支援員室からの出火を想定し、避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
10月 8日 9:30～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
11月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火(漏電)は3階作業室。消火器訓練も実施した。
12月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 7日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:夜間想定)	19時想定職員5名、出火は3階作業室で消防署へ通報訓練を実施。除雪機の操作訓練を実施した。
2月 18日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
3月 11日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。除雪機の操作訓練を行った。

6月4日、10月29日 13:30～垂直訓練を行った。

(4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第141号（9月28日発行）第三十五回開園記念日、食事会、夏のお楽しみデイ、
その他行事報告

第142号（3月22日発行）新年の祝い、秋のお楽しみ会、クリスマス会、
その他行事報告

常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

(5) 権利擁護、本人活動支援

① あおぞらプラン（かながわ知的障害者権利擁護プラン）の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。（①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重）

② 苦情解決（厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み）

今年度4月より、3階作業室にてオンブズマン相談会を実施している。感染症対策として、仕切り板の使用や参加利用者にマスクの着用を行っていただき、相談者1人ひとり、順番に相談を行う。
相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応する。

③ 本人活動支援（厚木地区としての活動）

厚木地区の本人活動支援（Aネット協力員）運営会議がZOOMで行なわれ、年間3回出席した。利用者研修会は年3回行なわれた。第1回は他施設とのZOOMでの交流会に利用者1名参加。第2回はあゆコロちゃん体操にZOOMにて4名参加している。第3回はフォークデュオのコンサートにZOOMにて3名参加している。いずれも皆さん楽しんでいた。

④ 本人活動支援（清川ホームとしての活動）

利用者の声を聞く会・答える会

年間12回実施。聞く会・答える会と交互に行った。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて回答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。

(6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。AED・心肺蘇生法、個別支援計画書の作成（アセスメントの仕方など）について、食事支援・ポジショニングについて、人権・身体拘束や不適切支援についての研修を実施した。4年ぶりに厚木警察署の協力のもと講師を招き、不審者対応訓練を行った。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数 4人 延べ人数 38人 （令和5年度 実人数3人 延べ人数37人）

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

（日中一時支援事業など）

年間 実人数 0人 延べ人数 0人 （令和5年度 実人数0人 延べ人数0人）

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 管理職の体制や役割分担の変更を効果的に活かし、利用者の高齢化にも配慮したサービス向上に努める。
⇒ 新体制でのスタートとなり、円滑に役割を進めることができた。利用者の高齢化にも配慮したサービスについては、毎日の健康チェック等を実施しながら早期対応が行えるようサービスの向上に努めた。
- 2 施設内外の職員研修を行い、職員のスキルアップ・知識向上を図る。
⇒ コロナ禍で防犯研修が実施できない状況が続いていたが、4年ぶりに厚木警察署の協力のもと不審者対応訓練を行い、有意義な研修を実施することができた。また、複数名の職員が強度行動障害支援者養成研修を受講し、職員のスキルアップ・知識向上が図れた。
- 3 避難訓練を毎月実施し、防災意識の向上を図る。
⇒ 計画に基づいて毎月、避難訓練を行うことができた。日本各地で自然災害が続いており、大規模災害における初動対応の再確認を行い防災意識の向上を図ることができた。
- 4 良好なチームワークによる利用者の安心安全な生活を支援する。
⇒ 日中活動・生活場面等で、職員間の情報共有を徹底し丁寧な支援を行い、ハード面の整備も進めることで利用者の暮らしが快適となるようサポートすることができた。
- 5 積極的に地域の行事に参加、貢献する。
⇒ 清川村のクリーンキャンペーンや防災訓練に参加したほか、厚木地区のオンラインあゆコロちゃん体操と音楽鑑賞会への地域行事に参加することができた。次年度も、積極的に地域の行事に参加しながら地域交流の輪を拡げていく。

IV 伊勢原ふたば保育園

1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

(1) 2024年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	7	8	10	10	10	10	10	11	11	11	11	12
1才	13	16	16	16	16	18	18	18	18	18	18	18	18
2才	18	22	22	22	22	24	24	24	23	23	23	23	24
3才	20	26	27	27	26	26	26	26	26	25	25	25	25
4才	28	22	22	22	22	22	22	22	23	23	23	23	24
5才	30	26	26	26	25	25	25	25	24	23	23	23	23
合計	120	119	121	123	121	125	125	125	125	123	123	123	126
2023年度		111	115	118	118	120	120	120	121	122	122	122	122

(2) 行事

4 月	1 日	新入園児歓迎会
	23 日	プラネタリウム見学(5歳児)
	26 日	5歳児春の遠足(小田原わんぱくランド)
5 月	10 日	4歳児春の遠足(平塚市総合運動公園)
	17 日	しゃぼん玉ショー
	24 日	芋の苗植え(5歳児)
	31 日	3歳児春の遠足(伊勢原市総合運動公園)
6 月	10 日	田植え(5歳児)
7 月	1 日	プール開き
	9 日	七夕
	13 日	夏まつり
8 月	2 日	お楽しみ会(5歳児)
10 月	11 日	稲刈り体験(5歳児)
	19 日	運動会
	28 日	芋ほり(4・5歳児)
11 月	1 日	3歳児秋の遠足(里山公園)
	8 日	4歳児秋の遠足(新江ノ島水族館)
	15 日	5歳児秋の遠足(横浜動物園ズーラシア)
	26~28 日	保育参観・懇談会
12 月	2 日	防火教育
	9 日	演奏会(向上高校)
	10 日	歯科健康教育(相馬歯科)
	13 日	防災センター見学(5歳児)
	20 日	幼児交通安全教室
	25 日	クリスマス会
1 月	17 日	新春マラソン大会
	31 日	石田小との交流会
2 月	3 日	豆まき
	15 日	リズム発表会
	21 日	消防署見学(4歳児)
	28 日	消防署見学(5歳児)
3 月	11 日	お別れ会
	15 日	卒園式
	19 日	5歳児卒園遠足(八景島シーパラダイス)
	31 日	保育終了の会

※このほか毎月、身体測定。

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止・制限をしていた行事は、通常通り再開したが、室内での行事に関しては人数制限をした。

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月2日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難に関する職員間での確認や子ども達は紙芝居等を通して学んだ。
5月7日 10:00	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難する訓練。各クラス、スムーズに避難をすることができた。 (予告なし)
6月15日 9:55	避難訓練 (地震想定)	土曜日の異年齢保育中の地震を想定して訓練を行った。(予告なし)
7月17日 10:00	不審者対応訓練 (建物内に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応した。(予告なし)
7月29日 10:00	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
8月21日 9:45	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難する訓練。各クラス、スムーズに避難をすることができた。 (予告なし)
9月6日 15:30～ 16:00～	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練) 引渡し訓練	地震が発生し、各クラス避難体制をとる訓練。そのまま引き渡し訓練を行う。 一斉メールで保護者に至急迎えに来ていただく訓練。各家庭、職場から来るため時間差があったが18時までには全員迎えに来た。
10月24日 15:00	避難訓練 (台風・竜巻・冠水想定)	歌川が氾濫し1Fの冠水を想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。(予告なし)
11月21日 15:00	避難訓練 (近隣の住宅からの火災想定)	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。(予告なし)
11月29日 9:45	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
12月11日 17:20	避難訓練 (落雷・停電の想定)	近隣に落雷した影響で、保育園の停電を想定した訓練。各クラスランタンを使用し子どもの安全確保を行った。
1月20日 10:15	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難する訓練。各クラス、スムーズに避難をすることができた。 (予告なし)
1月30日 10:15	不審者対応訓練 (園庭に不審者が侵入する)	保護者に紛れて園庭に侵入した不審者対応訓練。複数の職員で対応するとともに、不審者を刺激しないように合言葉で全体に伝え、各クラス避難体制をとることができた。(予告なし)
2月7日 7:40	避難訓練 (地震想定)	早朝の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。(予告なし)
3月25日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。(予告なし)

(4) 広報

○園だより、クラスだより
○保健だより

毎月発行
年4回発行

2 その他の取り組み

(1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 11件 (2023年度 14件)
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

① 園庭開放

利用人数も少しずつ増えてきたが、5月～10月頃は気温が高く熱中症の危険性があるため、利用者は減少している。

② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

今年度より向上高校の生徒との交流を開始し、令和グラウンドで野球部の学生たちと鬼ごっこや野球体験を実施したり、吹奏楽部による演奏会を開催でき子どもたちも様々な体験ができた。また、石田小学校と連携して行っている「ようこそ年長さん」では、年長児と1年生との交流を通して小学校への期待を持つことができた。3月には、石田小学校に年長児が授業の様子を見に行き実際に見学することでより実感することができた。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

伊勢原市内の中学生が職場体験で来園し、保育士の仕事を体験したり子ども達との交流を楽しんだりすることができた。

エ 世代間等交流事業

例年行っていた、「湘南けやきの郷」「ケアセンター高森荘」との交流は、2024年度も感染症の関係で見送ることにした。

(2) 一時預かり事業

利用状況（延べ利用件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
2024年度	4	4	5	6	3	5	4	5	9	5	3	3	56件
2023年度	0	1	3	2	1	2	1	2	2	0	0	0	14件

※新型コロナウイルス感染症の影響も減り、受け入れ体制を整えることができた。

(3) 職員研修

(園内研修)

月 日	内容	受講人数
4月 22日	不適切な保育について 講師：園長(田村)	23人
5月 13日	AED講習(伊勢原ふたば保育園) 講師：伊勢原市消防署職員	28人
5月 17日	不審者対応 講師：伊勢原警察署職員	28人
6月 14日	AED講習(伊勢原ふたば保育園) 講師：伊勢原市消防署職員	28人
7月 25日	保育内容について(勤務1年～5年) 講師：主任(青沼)	5人
11月25日/29日	感染症対策(消毒・吐物処理等) 講師：看護師(藤木)	28人
3月 5日	自己評価まとめ 講師：園長	11人

(外部研修)

月 日	内 容	対 象
6月 18日	保育所における事故防止	保育士
6月 22日	新任保育士研修・中堅保育士研修	保育士
6月 22日	子ども虐待予防研修	看護師
7月 4日	慢性疾患	保育士
7月 12日	あなたも私もサポーター	保育士
7月 16日	乳児の特性とアタッチメント	保育士
7月 23日	アタッチメントと保育者の役割	保育士
7月 25日	保健計画の作成と活用	保育士
7月 29日	児童虐待の基礎的理解	保育士
8月 5日	子育て支援研修	保育補助
9月 3日	乳児の発達特徴	保育士
9月 4日	障害児保育	保育士
9月 5日	主体性を育むアクティブラーニング	保育士
9月 10日	子育て支援研修	保育士
9月 17日	乳児の遊びと環境	保育士
9月 18日	障害児保育	保育士
9月 19日	子どもの体と心	保育士
10月 3日	カウンセリング講座	保育士
10月 4日	子ども主体の乳児保育とは	保育士
10月 7日	子育て支援研修	保育士
10月 8日	障害児保育	保育士
10月 9日	気になる子どもへの対応	保育士
10月 10日	乳幼児の感染症対策	保育士
10月 11日	幼児の発達特徴	保育士
10月 17日	カウンセリング講座	保育士
10月 23日	地域に根差した子育て支援について	保育士
10月 24日	乳幼児救急法	保育士
10月 29日	障害児保育	保育士
10月 30日	幼児教育と学校教育とのなめらかな接続	保育士
10月 31日	カウンセリング講座	保育士
11月 5日	3・4・5歳の子ども理解と保育内容	保育士
11月 7日	子育て支援研修	保育士
11月 14日	カウンセリング講座	保育士
11月 19日	障害児保育	保育士
11月 28日	カウンセリング講座	保育士
12月 6日	アレルギー研修	看護師

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 2024年度は特に人権擁護について常に確認しながら、子どもの人権を尊重した保育園運営を心掛ける。
⇒ 年度当初に人権に関する園内学習会を実施し、改めて人権に関する様々な問題を周知したり、事例をふまえて今までの考え方に固執していないかなど再確認をする。また、子どもだけではなく職員同士の関係性に関しても人権を尊重できるような関りかたが大事なことを共通理解することができた。
- 2 個々の心と体の発達を十分に見極めながら、子どもたちの興味や関心を展開しながら自主性を大切にしていく。
⇒ 子どもたちが関心を持っていることや、興味がある事に着目し保育を組み立てることを意識しながら、保育士から様々な情報提供をする中で活動の幅が広がることができた。
- 3 安定的な園児の確保に努めるとともに職員の業務負担の改善に取り組む。
また、こども未来戦略（加速化プラン）に沿って的確に対応していく。
⇒ 園児数は安定的に確保することができたが、年度途中での相次いだ引越しにより年度後半は目標水準を下回る結果となった。業務軽減では月間指導計画の廃止や、手作りの物を購入しながら負担軽減を図ることができた。また、職員からの声を大事にしその都度、見直すようにした。

V 本厚木ふたば保育園

1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

(1) 2024年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	4	6	7	7	7	8	9	9	9	11	11	11
1才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3才	13	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4才	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13
5才	14	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
合計	79	63	66	67	66	66	67	68	68	68	70	70	70
2023 年度	79	64	63	63	63	63	64	67	68	70	70	69	69

(2) 行事

4月1日	入園・進級式	
5日	保護者説明会・クラス懇談会	
19日	みどり園遊び (4・5歳児)	
26日	春の遠足4.5歳児 (海老名運動公園)	
5月2日	春の遠足3歳児 (水道記念館)	
17日	さつま芋苗植え (4.5歳児・みどり園)	
6月21日	みどり園遊び (4・5歳児)	
7月1日	水遊び開き	
4日	プラネタリウム (4・5歳児)	
5日	七夕の集い	
12日	プチ夏祭り (乳児)	
13日	夏祭り (幼児)	
8月23日	防災センター体験 (5歳児)	
30日	プール納め	
9月20日	みどり園遊び (4・5歳児)	
27日	5歳児お楽しみ会	
10月19日	運動会	
24日	さつま芋掘り (4.5歳児・みどり園)	
25日	秋の遠足3歳児 (相模川ふれあい科学館)	
28日	プラネタリウム (4・5歳児)	
29日	消防署見学	
11月1日	秋の遠足4.5歳児 (大和ゆとりの森)	
14日	みどり園遊び (5歳児)	
15日	みどり園遊び (3・4歳児)	
20日	交通安全教室 (幼児)	
12月20日	クリスマス発表会 (乳児)	
21日	クリスマス発表会 (幼児)	
1月6日	新春・伝承遊び	
10日	クラス懇談会	
17日	みどり園遊び (4・5歳児) 中止	
21日	大山こま	
2月3日	豆まき	
19日	お店屋さんごっこ	
21日	演劇鑑賞会 (4・5歳児)	
28日	みどり園遊び (4・5歳児)	
3月3日	ひなまつり会	
7日	5歳児を送る会	
13日	歯磨き指導	
14日	5歳児思い出遠足 (シーパラダイス)	*各月に、誕生会、身体測定 避難訓練などを実施
21日	卒園式	
28日	みどり園遊び (3・4歳児)	*年2回 内科健診、歯科健診
31日	修了式	

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 9日 9:30	避難訓練 (地震想定)	保育士の指示に従い、避難する事が出来ていた。2・3歳児保育室では、口を手で隠したり、自分で防災頭巾を被る姿も見られた。全体的に落ち着いていた。
5月 9日 16:00	地震総合訓練 (地震想定)	全クラスで園舎外に避難する為、出入り口に混雑が見られた。避難時間の工夫が必要。防災頭巾が避難している際にずれてしまう事が多く見られた。その為、防災頭巾のサイズを検討し新しく購入した。
16:30～	引き渡し訓練	保護者に引き渡しの際、しっかりと保護者の名前、子どもの名前、引き渡し時間を伝え、引き渡す事が出来ていた。保護者参加60名、不参加6名、16:54最終引渡し。
6月 4日 9:30	通報避難訓練 (火災想定)	※通報訓練。 0歳児は、0・1歳児職員が全員おんぶにて対応し、1歳児は手を繋いで避難体制を取った。2歳児は、手で鼻と口を覆い、速やかに避難する事が出来た。5歳児は、火事の言葉にすぐに反応し何処で何があったか理解していた。(予告なし)
6月 11日 9:30	避難訓練 (不審者想定)	雨天で園庭や花壇に避難する事が出来なかったが、避難通路を確保し、全クラス安全に避難する事が出来ていた。隠語の合図で、保育士がすぐに気が付き、子どもを安全に誘導する事が出来ていた。
7月 9日 9:30	避難訓練 (火災想定)	全クラススムーズに避難する事が出来た。2～5歳児は、口と鼻を手で押さえて避難する事が出来ていた。0・1歳児は、保育士間で声を掛け合い、歩行が出来る児は手を繋いだり、協力して避難する事が出来ていた。(予告なし)
8月 6日 9:30	避難訓練 (洪水・垂直訓練)	全クラス同じ避難経路の為、時間をずらしての避難をすることで、どのクラスも速やかに移動することが出来ていた。0・1歳児は、園児を抱っこするなど、お互いに話し合い避難する事が出来ていた。
9月3日 14:55	避難訓練 (地震想定)	午睡中の訓練であったが、3歳以上児は、笛の音と共に声を掛けると、子ども達も異常を察知して起きていた。乳児で日頃寝起きが悪かったりする児は、起すところから集まるまで時間が掛かっていた。起きてからは布団シーツを頭にかぶり身を守る事が出来ていた。
10月 8日 16:50	避難訓練 (地震想定)	各延長保育室での避難を落ち着いて出来た。また、マットを防災頭巾がわりに頭を守る事が出来ていた。0歳児は泣いている児が多かったが、保育士が側に付き、安心して避難が出来ていた。
11月 5日 10:30	避難訓練 (地震想定)	0歳児散歩中、保育士が子どもを安全な場所に速やかに避難した。1・2歳児は、固定遊具で遊んでいたが、保育士の笛の合図と声掛けで安全な場所に誘導すると、頭を守り保育士の話を理解していた。3歳児は、バナナ鬼をしていたが、保育士の指示を聞き、速やかに避難する事が出来た。4・5歳児は、ドッジボールをしていたが、保育士の笛の合図で速やかに落ち着いて避難する事が出来ていた。
12月 3日 8:30	避難訓練 (火災想定)	保育士が人数確認や避難経路の確保を行ない、スムーズに避難する事が出来た。保育士間で声を掛け合い、乳児や歩行の難しい児もおんぶしたり、手を繋いだりしながら避難する事が出来た。
1月 7日 8:00	避難訓練 (地震想定)	人数も少なく、すぐに集まる事が出来ていた。乳児も泣くことなく、落ち着いていた。マットでしっかり頭を守る事が出来ていた。(予告なし)
2月 4日 9:30	通報避難訓練 (火災想定)	※通報訓練。火災発生を知らせ、消防署に通報。園児は、速やかに園庭に避難する事が出来ていた。泣く様子もなく、口を押えながら上手に避難できていた。(予告なし)
2月 18日 16:30	避難訓練 (不審者対応)	お迎え時間に訓練を行なった。園内放送や保育士の声掛けの指示に従って速やかに避難出来ていた。乳児クラスも泣くことなく、落ち着いて避難出来ていた。保護者の方にも避難誘導を協力して頂いた。(予告なし)
3月 4日 16:00	避難訓練 (火災想定)	今回の避難場所は花壇であったが、雨天の為エレベーターホールに変更した。口を押えて避難する事が出来ていた。保育士間の声掛けもあり、子ども達も落ち着いて避難する事が出来ていた。

(4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 給食だより、毎月発行
- 保健だより 年5回発行
- インスタグラムで、タイムリーに保育などの情報を外部に発信した。

(5) 職員研修

- | | |
|------------|--|
| 4月4日～2月28日 | 神奈川県保育エキスパート等研修（オンデマンド）
保育士9名（保護者支援・幼児・乳児・障害児）
栄養士1名（食育アレルギー）
調理員2名（食育アレルギー・保健衛生） |
| 5月 7・8日 | AED使用方法及び心肺蘇生法（厚木市消防署救急救命課） |
| 6月 4日 | 園外活動時の交通安全（厚木市警察署） |
| 6月 21日 | 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 |
| 6月 25日 | 幼保小交流会 |
| 9月 6日 | 2歳児担当保育士交流会 |
| 9月 18日 | 給食施設従事者講習会 |
| 10月 30日 | 保育士等キャリアアップ研修（幼児教育） |
| 11月 3日 | リズム遊び実践研修会（正規保育士8名受講） |
| 1月 29日 | 保育園の危機管理と災害対応 |
| 1月 30日 | 中堅保育士交流会 |

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 新体制として、保育園の方針や特色を改めて伝え全体で意識統一を行う。全体計画や目標をしっかりと周知し、定期的に振り返りを行いながら、安全で安定した組織運営を目指していく。
 - ・保育園の方針や特色の明確化・より良くするための見直し
 - ・誰に対しても敬意と尊重を持って関わる・説明責任を果たす

⇒ 年度初めに職員全体に方針や特色を全体周知し、その後も定期的に定例会議等にて周知して浸透するよう図った。特色に関して「リズムあそび」は毎日取り組めたが、「ロールマット」はなかなか実践できない期間もあった。両方毎日実施できるよう保育活動を組み上げていきたい。「和太鼓演奏」に関しては、講師と業務委託契約締結し、指導提供の安定性を図った。

職員のアイデア等を汲み取り、夕方の保育時間に、体操をしたり、園庭やふたばの森を活用した。2025年度も引き続き職員のアイデア等を汲み取り議題とし、検討実践していく。

給食の充実においては、郷土料理を献立に取り入れて実践した。食育、クッキングも実践できたが、計画性に欠けるところもあった為、2025年度は年間計画を作成し実践していく。

業務の中での見直しに関して、なかなか現場、ミーティング、会議等で意見を出すことが難しい様子であった。2025年度会議の場を細分化し、機会の提供を行う。

誰に対しても敬意と尊重を持って関わる事に関しては、相当意識していたが、行事等で忙しくなってしまうと疎かになる場面が多く見られたので、継続していきたい。

説明責任に関しては、各職員しっかりと意図を持って実践していた。何かあった際も、状況をしっかりと把握し、振り返りを行ない、説明することができていた。
- 2 園児の人権を尊重し、安全、安心で幸せな保育環境を提供する。

保育の中で子ども達一人ひとりの意思決定、自己決定の機会を保護し、自ら考え選択して行動する主体的な生活が出来るよう保育していく。

 - ・不適切保育への意識向上・選んだり決めたり出来る保育の提供
 - ・子ども自身が選択したことを尊重しながらも安全を基準に適切に介入

⇒ 自己評価表や人権チェックリストを実施し、定期的に自身の保育を振り返る機会を提供した。また、会議等を通して、不適切保育や第三者視点の意識を持って保育をするよう促した。保育自体は、子ども達自らが選択できる機会を提供しており、主体的に生活している様子が見られていた。子どもの主体性を尊重しながらも、危険やリスクを予想し、事前に導入や話にて介入することで安全な保育を提供することができたが、事故報告も挙がっている為、しっかりと振り返りを行ない、再発防止に努めていく。
- 3 新体制として、第一にコミュニケーションにフォーカスをあて、話し合える環境を設定していく。自身の考えを伝え、他者の考えを聞き取り、その上で目的や目標を明確にし統一した保育が出来るよう努めていく。目的や目標、保育実践等の振り返りを密に行っていく。
 - ・各ミーティングの充実化・意見のすり合わせ・やりたい事への意欲や意識向上
 - ・やってみてどうだったかの実践と振り返り

⇒ 今年度はコミュニケーションの取り方に対して、一番力を注いだ。しっかりと話し合える環境を設定し、実践と振り返りがしやすいように図った。会議やミーティングだけではなく、何かあったらすぐに話ができるよう介入した。しかし、まだまだ自身の考えを上手く伝える事が難しく、受け取り方も改善しないといけない。意見のすり合わせまで辿り着けない事が多くあった為、次年度はすり合わせる前の段階の伝え方、受け取り方を強化していきたい。コミュニケーションの回数は増加したが、想いのすれ違いも増加した。やりたいことへの意欲や意識向上については、意欲や意識はあるが、それを表現することが難しい様子が見られた。その為、やれる範囲をできる限り用意し、こちらから適宜周知をすることで意欲の実践に繋げていきたい。実践と振り返りについては、何度も伝えていくうちに自然と振り返りをしてからの報告が多くなった。これからもこの考え方を定着させ、常にポジティブな感情で働くことが出来るよう図っていく。コミュニケーションについては、まだまだ未熟な部分がある為、今後も継続していく。

VI げんき家

- 所在地 伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号
- 事業内容 グループホーム
- 定員 4名

運営方針

- 1 利用者の意思及び人間性を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 2 地域との結びつきを重視し、支援の実施機関や就労及び通所先の事業所との連携を図る。

支援内容

- ・ 朝食、夕食の提供
- ・ 日常生活のサポート
- ・ 金銭管理のサポート

1日の生活

時 間	主 な 内 容
7:00	起床 朝食 【世話人が調理】 *健康チェック 職場に出勤や就労継続支援B型事業所通所 【職場・就労継続支援B型事業所】
17:30	帰宅 【世話人と夕食作り】
18:30	夕食 【世話人と夕食後片付け】
19:30	入浴 自由時間 就寝
	● 休日は、自由に好きなように過ごします。 (帰宅や買物、趣味嗜好の外出など)

2024年度の課題及び現時点での自己評価

- 1 手洗い・うがい等の新型コロナウイルス感染対策を励行し、入居者の健康管理に留意をしながら、就労されている入居者の支援を行う。
⇒ 入居者全員に手洗いうがい等を励行することにより、入居者全員が感染対策を意識して過ごし、新型コロナウイルス感染症等に感染することなく就労先や事業所に通勤できている。
- 2 新規入居利用者の受け入れ準備を整えながら、関係機関との連携を図る。
⇒ 空き状況を相談支援事業所や市町村に情報提供し、数名の方が見学するも入居に至っていない。引き続き、げんき家の魅力を情報発信しながら受け入れ体制を整えたい。
- 3 職員の法人内外の研修参加を継続する。
⇒ 2024年度もみどり園主催の人権擁護研修に参加した。

VII つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

1 利用実績 (開所日数・利用者数・平均作業工賃等)

2024年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	26	27	25	27	24	25	28	26	24	24	24	26	306
登録者数	51	51	52	53	51	52	51	51	51	51	52	52	618
延利用者数	627	650	610	658	507	605	668	636	602	584	567	629	7343
平均作業工賃													25,272

2023年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	25	28	26	26	25	26	26	26	24	24	25	25	306
登録者数	48	48	48	48	48	51	52	52	52	53	50	50	600
延利用者数	574	624	610	576	513	610	667	673	654	627	573	579	7280
平均作業工賃													24,745

2 作業内容

施設内作業	自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業 検品、段ボール組立、水道メーター解体
施設外就労	出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等
自主事業	メルカリ販売、洗車作業、除草作業

3 就労支援活動

年度	就職者数	定着率	障害種別	業種
2024年度	2名	100%	精神障がい	製造業 生活協同組合
2023年度	2名	100%	精神障がい・知的障がい	製造業 医療・福祉

【本人支援】

企業見学同行/企業実習同行/就職手続支援 (ハローワーク手続きなど) /履歴書作成
就職面接同席/就職後企業訪問/相談支援/退職手続き/失業保険手続き

【企業・関係者支援】

就労パスポートを活用した障がいの説明/相談支援
研修会における実践報告

4 行事

4月 1日	花見 (秦野市カルチャーパーク)
5月 27日	東海大学医学部看護学科体験発表 (東海大学伊勢原キャンパス)
7月 5日	平塚七夕見物
8月 27日	暑気払い (分散しての夕食)
9月 24日	事業所交流会 (すたみな太郎)
10月 5日	道灌祭 (つくし敷地内)
6日	道灌祭 (つくし敷地内)
11月 3日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等 シティプラザ)
22日	ハートメッセージ (伊勢原市民文化会館)
12月 3日	日帰り旅行 (お台場)
12月 4日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン
9日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
16日	湘南西地区苦情解決委員会第三者委員訪問
1月 6日	初詣 (伊勢原大神宮)
2月 13日	梅見会 (曽我別所梅林)
※ 絵画教室 (年4回開催)	

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月5日	避難訓練(地震想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。
2月3日	避難訓練(火災想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。

6 実習生受け入れ

社会福祉士・ソーシャルワーク実習受け入れ 2名

精神保健福祉士実習受け入れ 2名

公認心理士実習受け入れ 3名

精神看護学実習受け入れ 10名

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 年間を通して安定した受注作業がいただけるように企業との連携を強化しながら、
工賃の時給額アップを目指す。
⇒ 平均工賃月額、前年より527円引き上げることができ、月額25,000円を達成した。
取引が終了となる企業もある中で、新規取引先の開拓や事業所ECサイトの開設などを行い、安定した受注を行えたことが要因として挙げられる。
2025年度は、新規取引先からの受注量増加、安定したECサイトの運営を行い、更なる工賃向上に努めたい。
- 2 スーパービジョン体制（支持的機能・教育的機能・管理的機能）をさらに整える。
⇒ 個人目標、チーム目標の設定を行い、年2回のスーパービジョン面談を実施している。
また、必要時はその都度面談を行っている。2024年度は職員体制が大きく変わり、経験年数の浅い職員が多く在籍している。改めてスーパービジョン体制の必要性を感じており、安心して働くことができる、目標に向けて前向きに取り組める環境を整備していきたい。
- 3 つくしの魅力（一般企業就労実績・専門性の高い支援・丁寧な仕事等）をホームページで発信する等、利用者の獲得と企業から作業が安定して発注していただけるようにPR活動を行う。
⇒ 2024年度は、11名の新規利用者と契約を結ぶことができた。再通所者や紹介による利用者が多く、つくしの魅力（一般企業就労実績・専門性の高い支援・工賃実績）を発信してきたことが結果として現れてきている。今後も質の高いサービス提供を目指しながらPR活動の強化にも繋げていきたい。

VIII アトリエ ヴェルデ

就労継続支援B型事業所

定員 25名

所在地 伊勢原市高森1422-7

1 利用実績（開所日数・利用者数・平均作業工賃等）

2024年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
登録者数	31	31	31	30	31	31	31	31	31	31	32	32	373
延利用者数	597	588	578	597	470	567	608	597	561	571	551	569	6854
平均作業工賃													18,389

2023年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270
登録者数	29	29	29	29	29	30	30	30	29	29	29	29	351
延利用者数	558	548	581	569	514	552	597	564	555	550	524	554	6666
平均作業工賃													20,054

2 作業内容

施設内作業	クリーニング作業、ボールペン組み立て、プラスチック製品組み立て作業 ラベル貼り、除草作業
施設外作業	クリーニング作業、清掃作業、除草作業

3 その他の活動

実習生受入 伊勢原支援学校実習生受入

4 行事

4月20日(土)	保護者会(ヴェルデ食堂)昨年保護者希望で年1回の開催
4月25日(木)	お花見(神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン)
5月23日(木)	日帰りレク(よこはま動物園ズーラシア)
7月18日(木)	暑気払い(THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA)
9月5日(木)	防災訓練(火災想定)
10月31日(木)	日帰りレク(サンリオピューロランド)
12月12日(木)	忘年会(だんらん)
1月25日(土)	初詣(平塚八幡宮)
2月1日(土)	スポーツ大会(伊勢原市総合運動公園内体育館)
2月11日(火)	防災訓練(地震想定、防災センター見学)

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月5日	避難訓練 (火災想定)	男性更衣室より出火想定。初期消火失敗後、避難を行なう。スムーズに避難出来ていた。
2月11日	避難訓練 (地震想定)	地震想定。職員の指示を聞き、避難出来ている。終了後防災センターに行き、地震・風水害・火災・消火体験を行なっている。

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の増員、経営の安定を図る。
⇒ 2024年度は、5名(支援学校卒業生2名、相談支援事業所3名)の新規利用者と契約を結ぶことができた。また、支援学校の実習生2名が実習に来られたが、2025年度新規利用には繋がらなかった。引き続き利用者の増員に努めたい。
- 2 支援体制を整え工賃の向上を図り、利用者の就労支援と就労後の定着に関する支援を強化する。
⇒ 大幅な工賃向上は難しかったが、東立化工機のプラスチック製品組み立て作業、㈱クローバーコネクトのラベル貼り作業は例年より多く発注していただき、作業収入は得ることができた。9月頃より中谷商工機のペンの組み立て作業や岳石電気(株)の電子部品作業の受注が少なくなり、新たに取り扱い説明書の袋入れ作業・リンガーハットの除草作業の新規開拓を行なったが毎月の作業量が流動的なので、安定した作業収入が確保できるようにしていきたい。
- 3 職員が理念、方向性を共有し、施設内研修、施設外研修に参加し支援技術、モラルの向上を図る。
⇒ 7月より職員が増え、施設外研修に参加出来る機会が多くなった。ケース会議・職員会議を通して理念・方向性を共有した上で、引き続き施設外・施設内の研修を行ない利用者支援向上に努めていく。
- 4 「つくし」との連携協力強化を図る。
⇒ 取引先の情報共有等、作業に関する情報交換が行なえた。職員の交換研修等はできなかった。

Ⅸ つくし相談室 相談支援事業

1 開所日数

267 日（2023年：264日） 1日平均相談件数 18.9件（2023年：23.7件）

2 相談実績

（1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体 障害	重度心 身障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他	総 数
2024年度	7	0	79	103	1	1	0	191
2023年度	10	0	72	115	2	1	0	200

（2）相談登録者数

	身体 障害	重度心 身障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他	総 数
2024年度	15	0	127	139	3	3	0	287
2023年度	17	0	131	146	3	3	0	300

（3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別支 援会議	関係機関	総 数
2024年度	726	536	116	2,370	313	27	981	5,069
2023年度	712	605	182	3,041	674	30	1,023	6,267

主な支援内容

・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画）	3,283 件
・健康医療に関する支援	2,245 件
・生活技術に関する支援	1,639 件
・家族関係・人間関係に関する支援	1,481 件
・その他	1,859 件

3 相談実績の分析とその対応

2024年度は、相談員が2名体制となり「電話相談」は年間700件近く減少した。一方で「訪問」は増加している。また主な支援内容では「生活技術に関する支援」が増加傾向であった。増加の要因として心身の体調等で面談に来所できないケースや、生活場面を確認して支援する必要があるケース等が増加したためと考えられる。

業務改善等については、サービスの標準化を図り、新規開設をした相談支援事業所と連携協力し、丁寧に利用者移行を進めた。また、定期面談や通院同行等の支援の見直しを積極的に実施し、持続可能な相談支援事業所の体制整備に努めた。利用者の安心安全な生活の維持を図れる支援を行いながら、不安や心配が払がらないよう、できる限り細やかな対応や配慮を行った。

「かながわライフサポート」事業については1件実施し、怪我等による休職や物価高で生活に困難をきたしている利用者に対して経済的支援や食糧支援を行った。

2024年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談の持続可能な相談継続をめざす。

⇒ 通所施設、グループホーム、ヘルパー支援などの福祉サービスの利用について、利用者の意向に沿いながら、見学、体験、利用までの調整支援など、利用者及び家族に対し丁寧な支援を行った。また、精神的、身体的に治療を必要とされた利用者に対し、医療機関や訪問ステーションとの連携、調整等の支援も行った。

業務改善については、サービスの標準化を図り、新規開設をした相談支援事業所と連携協力し、丁寧に利用者移行を進めた。また、定期面談の回数や通院同行等の支援の見直しを積極的に実施し、持続可能な相談支援事業所の体制整備に努めた。

- 2 伊勢原市障がい福祉計画に位置付けている「委託相談支援事業所」の役割等を確認し、職員の資質・体制、他事業所との連携等を検討する。

⇒ 「委託相談支援事業所」について、行政担当者と協議を行い、委託依頼の要請を受けたが、新体制となり体制整備をしている段階であるため、継続協議となっている。

- 3 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート」事業の円滑な運営に努める。

⇒ 今年度は1名が利用した。支援を依頼された時にはすでに生活が困窮した状態であったため、神奈川県社会福祉協議会と連携し、食料の支援、通勤代など生活に必要な金銭的支援を行い、神奈川県社会福祉協議会と共に継続した支援にて生活面等の安定を図った。

また、かながわライフサポート事業 令和6年度CSW（コミュニティソーシャルワーカー）養成研修に1名受講し、資格を取得して支援体制の強化を図っている。

- 4 キャリアにあった研修を受講し、相談員の知識及び経験の維持向上を図る。

⇒ 令和6年度相談支援従事者現任研修に1名受講し、相談支援専門員資格の更新を行い、キャリアにあった研修を受講している。また、東海大学健康学部健康マネジメント学科にて「精神保健福祉士現場実習」カリキュラムのゲストスピーカーとして講義を行い、相談支援専門員の仕事内容や役割、利用者支援で必要なことなど、福祉の魅力を伝え人材育成の一端を担えるよう努めた。

X 施設間連携室

1 設置場所

伊勢原市栗窪605-1 (みどり園内)

2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸出調整等

3 実績報告

月日	件名	貸出物品	貸出先
4月19日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
4月23日	見学(伊勢原市子ども科学館)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
4月26日	遠足(小田原わんぱくランド)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
4月26日	遠足(海老名運動公園)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
5月2日	遠足(水道記念館見学)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
5月10日	遠足(平塚運動公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
5月17日	さつま芋苗植え	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
5月24日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
5月24日	さつま芋苗植え	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
6月3日	健康診断	三菱マイクロバス	つくし
6月10日	田植え	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
6月17日	笹取り	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
7月4日	厚木市子ども科学館見学	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
7月23日	送迎	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
7月24日	送迎	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
8月23日	防災センター見学	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
8月27日	暑気払い(ふじまる)	三菱マイクロバス	つくし
9月20日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
9月25日	運動会練習	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
9月27日	お楽しみ会(あいかわ公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
10月15日	稲刈り	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
10月24日	さつま芋掘り	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
10月25日	遠足	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
10月28日	プラネタリウム	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
11月1日	遠足(大和ゆとりの森)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
11月1日	遠足(里山公園)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月5日	さつま芋掘り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
11月8日	遠足(新江ノ島水族館)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月14日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
11月15日	遠足(横浜ズーアシア)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月15日	みどり園芝生広場遊び	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
11月18日	見学(東海大学病院)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月23日	送迎	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
12月13日	見学(防災センター)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園

1月28日	採血（丹沢病院）	日産マイクロバス	みどり園
1月31日	交流会（石田小学校）	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2月21日	見学（伊勢原市消防署南分署）	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2月28日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2月28日	見学（伊勢原市消防署南分署）	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
3月14日	遠足（八景島シーパラダイス）	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
3月19日	遠足（八景島シーパラダイス）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園

2024年度の課題に対する自己評価

引き続き施設間での公用車（マイクロバス等）、みどり園芝生農園、備品等の施設への貸出の調整業務に取り組むとともに、みどり園花壇農園での保育園さつま芋堀りの手伝い等を行うなど、公用車、備品、農園等の有効活用を図る。

⇒新型コロナウイルス感染防止対策は少しずつ緩和されているが、各施設とも感染対策をしたうえで外出等を模索し、マイクロバス等の公用車、みどり園芝生農園、備品等の各施設への貸出を行った。さつま芋栽培は農園全体の草むしりなどフォローを行った。職員体制が変わり、前年度に比べると行えないことがあった。